

令和5年度		学校経営計画		江戸川区立上小岩第二小学校 校長 小野塚 良朋	
学校教育目標		上二の子どもはやり通す			
		やり通す心 やり通す体		・よく学ぶ子・思いやりのある子よく働く子 ・よく遊ぶ子・よく運動する子	
○学校像	・児童一人一人を大切にし、児童のよさや可能性を伸ばす学校 ・児童の主体性を尊重し、自ら選び取り組む「生きる力」を育む学校 ・誠実に教育に取り組み、家庭や地域から信頼される学校				
○児童像	・落ち着いた学習に取り組み、学ぶ喜びを知る児童 ・目標をもって努力し、よく考え、課題を解決しようとする児童 ・進んで仕事をし、友達と仲良く、元気に生活する児童				
○教師像	・敬愛され、信頼される教師 ・職責を果たすことに熱意をもって取り組み、研究、研鑽に励む教師 ・教育の専門職としての自信と誇りをもつ教師				
令和5年度 育成テーマ		生きる力を培う、主体的で深い学び			
	具体的な取り組み		期待する成果		
重点課題 1		いきいきと学ぶ教育の充実			
確かな学力の向上	・学ぶ姿勢と学習習慣を確立する。 ・ タブレット端末を活用した個別最適な学び 。 ・各学年での計画的な指導による基礎基本の力の充実。民間委託による補習の充実と協働。		・学習した内容の正答率、8割以上の児童を年度末において、80%以上にする。		
体力の向上	・体育授業は 主体的な課題解決学習を進め、運動本来の楽しさを味わえる指導を展開する 。 ・体力テストの方法、実施場所の改善。記録の向上を目指した指導及びプレテストを実施する。 ・集団での運動遊びの楽しさが実感できるわくわくタイムの改善、クラス遊びの取り組み。		・学習カードや体育日記を活用した授業、評価を行い、主体的に運動する子どもたち2割以上増加。 ・すべての種目に対し、結果数値増。 ・毎日仲間と外遊びをする児童90%以上。		
新しい教育の充実と推進	・全教科を通して個別のタブレット端末を活かした教育を推進する。 ・読書活動の充実、環境整備。学校応援団、地域図書館との連携強化。読書ノートの活用。 ・教科担任制の段階的導入。英語専科の活用。 ・対話的な学びから、主体的で気づきの多い学習活動を行う。		・タブレット端末操作のスキルアップ。 ・読書好きの児童 90%以上。 ・「外国語の授業が楽しい」児童85%以上。 ・論理的な思考力の向上		
重点課題 2		特色ある教育の展開			
質の高い教育活動の推進	・各教科、総合的な学習とのカリキュラムマネジメント。検証を重ね、連携を図りながら改善を加えていく。 ・タブレット端末ほか、ICT機器の効果的な活用。 ・ 教育課題実践校の成果とレガシーを定着させる 。		・「教科、領域等の連携プログラム」見直しと改善。 ・新しい実践や先進情報をつかみ、本校の実態と昨今の課題に合わせた教育活動を創る。		
運動の魅力発信と推進	・主体的な活動を促すため、休み時間を活用した運動遊びの時間の見直し。 ・運動への継続的な取り組み（長なわ、マラソンタイム） ・オリンピックレガシーを活かした教育。ボランティア精神の育成、日本伝統文化の理解。		・学年を超えた運動遊びと、クラス遊びによる集団遊びの実施。 ・関係する学校評価 好評価85%以上。		
重点課題 3		健全育成の充実			
いじめ、不登校への対応 特別支援教育の推進	・ハイパーQ調査を実施し(6月)実態を把握結果をもとに児童との個別面談を行う(9月) ・いじめ、体罰アンケートを毎学期実施、結果を管理職が個別に聞き取る。タブレットの活用を図る。 ・児童と保護者対象の、スマートフォン等の使い方教室を実施		・「居心地の良い学級」と感じる児童90%以上 ・不登校児童出席日数を昨年度より増加、不登校児童の減少 ・インターネットがらみのトラブル件数0件 ・取り組みに対する高評価90%以上(保護者学校評価)		
重点課題 4		教員の資質向上			
校内研修会の充実 働き方のさらなる改善	・ICTを活用した公開授業を実施する ・体育実技研修会を年3回実施する ・若手研修会の年間計画と実施方法の見直し ・実効性のある働き方改革の実施		・ICTを活用した授業満足度、好評価85%以上 ・授業満足度調査(児童)90%以上 ・研修会を計画通り実施する。 ・月一回の定時退勤日の設定、超過勤務時間制限、月45時間以内。SSSの有効活用。		